

## <金標準、チャートパターンはペナントレンジからの離脱を待つ・・・>



(出所：オアシス)

FOMC で FF レート誘導目標を 3 会合連続で 0.25% の利下げを実施し、4.25%~4.5% へ変更している。また前回 9 月に行った FOMC メンバーによる経済予測では、2025 年の利下げ回数が 4 回を示していたが、今回は 2 回へ縮小している。また日銀金融政策決定会合では、利上げ見送りが決定し、植田日銀総裁の記者会見で「賃金の動向に注目したい」と発言した事から来年 3 月の春闘まで利上げ見送りの思惑が強まり、為替市場では FRB の利下げ後退、日銀の利上げ見送りの動きに一時 157.81 円まで円安が強まる動きを見せている。

そのため金標準先物は、12886 円まで下値を模索しながら為替市場の円安を受けて週末には 13309 円まで高値を試している。

ただチャートパターンでは、12800 円~13300 円のレンジ内でペナントレンジを形成する動きを続けており、このレンジからの離脱を待つ状況が続くと思われる。特に米国の債務上限問題が浮上しており、「離れに付け」の格言に備える値動きに思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACA が切り上げながら、シグナルも切り上げている。RCI では短期が下げながら、長期を下回るなど弱気を見せている。特に日足が 10 日移動平均線と 40 日移動平均線を維持する事が出来るかに注目するのが妥当に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,590,000 円(2024 年 12 月 23 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 71,280 円(2024 年 12 月 23 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>